

教員名

教育研究開発センター 教養教育部門

講師 佐々木 洋子

I 授業の目的

病気、障害、健康などの身体に関する事柄について社会科学的観点から考察し、社会における医学・医療の役割をとらえ直す。とりわけ、医療者ではない人々の意識や行動からの考察を通して自身の価値観を相対化し、多様な人々のあり方や社会的背景に配慮することのできる医師になるために必要な幅広い視野を獲得することを目指す。

II 到達目標

- ・病人役割とその展開を説明できる。
- ・病気行動を説明できる。
- ・疾患 (disease) と病 (illness) の違いを説明できる。
- ・スティグマを説明できる。
- ・適切な態度で他者の話を聞くことができる。
- ・説明モデルを説明できる。
- ・病の語りの重要性を説明できる。
- ・ジェンダーに関する用語を正しく説明できる。
- ・障害の社会モデルの発想を理解し説明できる。
- ・日常生活において病気や健康がどのようにとらえられているか説明できる。
- ・病気や健康、医療に関する自身の価値観を相対化できる。

III 教育内容

以下のように講義を進める。進度により内容が前後することがある。

1. イントロダクション
2. 病人役割
3. 病気行動
4. 疾患 (disease) と病 (illness)
5. 病気と差別・偏見
6. スティグマ
7. 語りを聞く/語る(1)
8. 語りを聞く/語る(2)
9. 語りを聞く/語る(3)
10. 説明モデルと病の語り
11. ジェンダー
12. 障害の社会モデル
13. 全体のまとめ
14. 定期試験

IV 学習および教育方法

講義形式 (ディスカッションを取り入れることもある)。適宜、資料を配付する。また、映像資料を用いることもある。

V 評価の方法

全学的基準を前提とし、毎回の授業内課題30%、定期試験70%で評価する。

VI 推薦する参考書

講義中に随時紹介する。

講 義 日 程 表 (医療社会科学 I)

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	R5.4.10	(月)	3	イントロダクション	教育研究開発センター	佐々木
2	R5.4.17	(月)	3	病人役割	教育研究開発センター	佐々木
3	R5.4.24	(月)	3	病気行動	教育研究開発センター	佐々木
4	R5.5.8	(月)	3	疾患(disease)と病(illness)	教育研究開発センター	佐々木
5	R5.5.15	(月)	3	病気と差別・偏見	教育研究開発センター	佐々木
6	R5.5.22	(月)	3	スティグマ	教育研究開発センター	佐々木
7	R5.5.29	(月)	3	語りを聞く/語る(1)	教育研究開発センター	佐々木
8	R5.6.5	(月)	3	語りを聞く/語る(2)	教育研究開発センター	佐々木
9	R5.6.12	(月)	3	語りを聞く/語る(3)	教育研究開発センター	佐々木
10	R5.6.19	(月)	3	説明モデルと病の語り	教育研究開発センター	佐々木
11	R5.6.26	(月)	3	ジェンダー	教育研究開発センター	佐々木
12	R5.7.3	(月)	3	障害の社会モデル	教育研究開発センター	佐々木
13	R5.7.10	(月)	3	全体のまとめ	教育研究開発センター	佐々木
14	R5.7.24	(月)	3	定期試験	教育研究開発センター	佐々木